

文化いせさき

第13号



「旧時報鐘楼とひこうき雲」／撮影者 渡辺 文雄

伊勢崎市文化協会

令和6年度伊勢崎市文化協会事業日程計画

伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。

期別	開催日	事業名	会場
一	4月7日(日)	華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表会	華蔵寺公園野外ステージ
第1期	6月28日(金)～30日(日)	書道部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 小ホール 外
	6月30日(日)	歌謡部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール
	7月13日(土)・14日(日)	華道・文学部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 展示ロビー
	7月13日(土)	民謡民舞部門・キッズはじめて文化チャレンジ合同開催日	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール 外
第2期	9月1日(日)	諸芸部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール・一般展示室・和室
	9月6日(金)～8日(日)	美術部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 一般展示室・展示ロビー
	9月8日(日)	茶道・洋舞部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール
	9月28日(土)・29日(日)	いせさきまつり 郷土芸能発表会・民踊流し	おまつり広場 外
第3期	11月23日(土)・24日(日)	自然部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 一般展示室・展示ロビー
	11月23日(土)	音楽部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール
	11月24日(日)	郷土芸能部門	人材派遣ワイズコーポレーション 境総合文化センター 大ホール
第4期	3月21日(金)～23日(日)	写真部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 第1展示室
	3月22日(土)	吟剣詩舞部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 小ホール
	3月23日(日)	邦楽舞踊部門	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 大ホール



市ホームページにも
写真を掲載しています

編集後記

コロナ禍の落ち着きとともに、各種の文化活動も活発になり、催し物の会場確保にも苦勞するようになってきました。しかし、空白の三、四年間の影響は大きく、県内各地の各団体の活動にも大きく影を落としているようです。
そのようななかにおいて、私たち伊勢崎地区の文化活動は、近隣の他の地区に比べて飛びぬけて明るさ、積極さを感じているのは筆者だけではないと思います。これには、行政の文化活動に対する考え方や、伝統に培われた独特の気風があると感じています。
今回発行の第十三号「文化いせさき」の記事に、会員の皆さんの明るい、前向きな姿勢を感じ取っていただけると幸いです。

石田 英生 記

時代や世代を超えた新たな架け橋



伊勢崎市文化協会
会長 新井 哲郎

昨年五月に新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが「五類感染症」に移行されたことにより、新型コロナウイルスとの闘いも、ようやく一つの区切りを迎えました。それにより、街にはコロナ禍前の活気が戻り、文化芸術の世界でも各分野でようやく活気あふれる活動が行われるようになりました。

令和五年度の伊勢崎市文化協会は、昨年度同様、十五部門すべての部門において展示会・発表会を無事に開催することができました。これもひとえに会員及び関係各位のご尽力の賜物と存じます。展示部門では、日頃の努力が作風に現れ、舞台部門では、華やかな衣装で自信に満ちた演技の披露に、どちらも感銘を受けました。

また、令和五年度新たに始まった「キッズはじめて文化チャレンジ」では、六つの部門で体験事業を開催し、次代を担う子どもたちと文化芸術の共有ができました。中でも、吟剣詩舞と邦楽舞踊の二つの部門では、練習の成果をステージで発表し、成長した子どもたちの姿はまぶしく輝いていました。

文化芸術は、時代や世代を超えた架け橋であり、心を通わせる大切な手段です。さまざまな世代が交わり、共に創造する喜びを共有できる場所として、この文化協会を通して私たちは力を合わせて歩んでまいりたいと存じます。結びに、事務局の皆様、会員の皆様のご協力に感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

伊勢崎市文化協会 各部門のあゆみ

文学部門

第十七回 文学祭に参加して

吉沢 典子

今年の文学祭は、お天気にも恵まれ、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで、コロナも落ち着いてきたため、比較的自由な形で各部門とも行うことができました。

「華道部門」では、全流派が参加して、多くの作品が出品され、会場が華やいだ雰囲気となり、出



品者は期間中、生けた花に水を補給したり、形を整えたりと、気配りをする姿が見受けられました。「紙芝居を楽しむ会」では、新作の紙芝居が展示されていて、いつか新作の紙芝居を見てみたいと思いました。

「群馬童話研究会」では、十七年間、毎年一冊ずつ発行してきた会誌が展示されていて、椅子に腰掛けて作品を読む人の姿が見受けられました。「短歌、俳句部門」では、各人が生活の中で体験し、感動したこと、心で感じたこと、四季折々の自然の情景などが詠われていて、作品から作者の感動が伝わってきました。

午後からは、満席の小ホールで、柳家小もんさんの落語「長屋の花見」が、身振り手振りを交えて楽しく滑稽に演じられました。林家楽一さんの紙切りでは、白い紙とハサミを持ち、お客さんの

音楽部門

広げよう 音楽の輪を！

下田 清子

リクエストに応えて、人や動物の姿を紙を回しながら、たちまち切っていく様子は、見事でした。お客さんと演者が一体となり、楽しいひとときを過ごせたことで、今年の文学祭の良い締めとなりました。

最後となりましたが、事務局の皆様には、計画から準備、会場設営と大変にお世話様になりましたこと、心より感謝申し上げます。

本年(令和五年度)も紅葉が美しく染まり、昨年に続き十一月十八日(土) 第十七回伊勢崎市民音楽祭が、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。本年は、十五団体の参加をいただきました。今回はバンド演奏、ハーモニカ、オカリナ、コーラス等、多彩なジャンルのプログラムで構成されました。演目も聞き覚えのある、懐かしい曲が続きました。最後のアイオーしんきん音楽部の皆さんの「秋桜」では、会場のお客様からアンコールの声が、かかりました。演奏と会場とが、一体となった瞬間を感じました。

【表紙説明】

《旧時報鐘楼》

横浜で薬種商を営んでいた小林桂助(三光町出身)の寄付で大正四年(一九一五年)に着工、翌年に竣工されました。時刻を知らせるシンボルでしたが、時報は昭和十二年(一九三七年)警察署望楼に設置されたサイレンの吹鳴に取って替わられました。高さは十四・五六メートルあり、煉瓦が張壁として用いられ、ルネサンス風の窓やドーム屋根は大正ロマンを感じさせます。鉄筋コンクリート構造の建造物としては、県内最古です。



今回のスローガン「届け！みんなの心にこのメロデー」が叶ったようでした。音楽を聴くのは勿論ですが、仲間と共に歌い、演奏し、共有できる楽しさは、一人では経験できないものがあるように思います。コロナ生活も段々収束が見えてきた昨今ですが、まだまだ油断できない毎日です。

多くの方々が年齢を重ねつつも、音楽を身近に感じて、楽しく、生き生きと、心豊かに過ごせますようにと思います。今回の市民音楽祭の諸々の反省点を踏まえて、次年度の音楽祭に活かしてまいりましょう。そして、音楽の輪が広がるように、更に練習を重ねたいと思います。最後に、市民音楽祭の開催にあたり、事前の会議、準備等、事務局並びに関係者の皆さまに、大変お世話になりました。ありが

とうございました。来年以降、更なる多数の参加があり、市民音楽祭がますます盛況になり、伊勢崎が音楽の町になりますよう祈念いたします。

歌謡部門

一年間を振り返って

荒井 通好

歌謡部門の、発表会も早いもので、第三十一回となり参加者も多く百七十二名を数えました。コロナに悩まされて、一時期は出場者も少なく、客席もまばらでしたが、最近になって、カラオケを楽しむに、生きがいになっているのは私だけではないと実感しています。発表会のステージで

は男性も女性もプロ顔負けの衣装を身に着けて、チョッピリ緊張しながら唄う姿には本当に感動しました。このような発表会をするにあたっては、本年度参加団体十三クラブ(支部)の協力があつて、初めて達成できたものと感謝しています。まずは役割分担を決めて、本番を迎えるわけですが、それぞれの役割にしたがつて準備をしました。理事会を経てプログラム作成と出演順番などを決めました。発表会の前日には、午後六時より舞台作りをして、発表会の日を迎えます。当日は朝八時四十分集合で役割分担にしたがつて準備して発表会が始まりました。ステージで楽しそうに唄う出演者と、客席からの声援で大盛り上がりでした。発表会は順調にいつて当たり前ですが、すべてが終わったときは、本当にホッとした気持ちになりました。



後日反省会を行い、その反省点をもとに次の発表会に活か

邦楽舞踊部門

温故知新の如く伝統芸能を次世代へ

川島 和美

柔らかな春風と桃の香りに包まれる、令和六年三月二十四日(日)第十六回「邦楽舞踊のつどい」が無事に開催となりました。今年度は新たな試みとして、事務

すようにしています。あらためて思うと参加者はいろいろで懐メロを唄う人、今はやりの、覚えての新曲を唄う人など、皆ひと時をスター気分浸っているようです。唄う歌は演歌が多いようです。歌の世界も年齢によつてジャンルに違いがありますが、年齢に関係なく参加できるような会にするのが今後の課題だと感じています。最後に私事ですが、八十七歳でパソコンに向かつて曲作りをしたり、発表会でも自作の歌を唄ったりの日々が、私の生きがいとなっています。また自宅の音楽室では会員の皆さんとカラオケを楽しんでいます。その他、健康維持管理としてグラウンドゴルフなども、生きがいの一つです。

次回の発表会六月三十日に向けて頑張ります。

写真は、石井喜美子さんと荒木有子さんのステージです。



局の提案とお力添えによる『子ども日本舞踊教室』を、昨年十月七日(土)から今年三月九日(土)まで、十回にわたり日本舞踊のお稽古に励んだ可愛い子供たち、下は小学一年生の男の子から上は中学二年生の女の子の八名で、お辞儀の仕方から、「さくらさくら」の踊りを、オープニングにとでも相応しく、華やかに可憐な桜の如く、上品に舞う姿をご覧になったお客様は、さぞや心を惹きつけられ、堪能されたことと存じます。私たちがこの体験を通して、改めて子供の純粋で素直な心に触れ、とても有意義で価値のある時間を過ごさせていただきました。今回も大変お世話になりました事務局の熱意と寛大なる対応無しでは、成し遂げることはできませんでした。常に行き届いた配慮には頭が下がる思いで感謝の念に堪えません。

また、式典にご来賓の皆様、ご公務ご多忙中の所、臂泰雄市長始

め三好賢治教育長、新井哲郎文化協会会長からは身に余るお言葉を頂戴し、大変光栄に存じます。

私たち邦楽舞踊部門は今回お陰様で、お能を始め、箏曲、日本舞踊、創作舞踊等、全十八団体が参加となり、中には低学年の可愛い男女の子供たちの他に、男性の方々も出演して下さったことにより、大変個性豊かな演目となり、また一団体ずつの意気込みもより一層感じられ、次回に繋がる見応えのある素晴らしい発表会となりました。

また、いつも当然のごとく行っている下流いと本番を今回も安心して演ずることに集中して舞台に立つことが出来ましたのも皆事務局始め、会館職員様、関係者各位の皆様の大なるご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。今後伊勢崎市文化協会の一部門として、会員の皆様から愛され、市の発展の為に、微力ながらも貢献し続ける次第でございます。



吟剣詩舞部門

未来を継ぐ

原 けい子

花便りが待たれる好季節の頃、あいにくと発表会当日は特に肌寒く雨から雪に変わり天候が心配されるなか「第十七回吟剣詩舞の集い」が開演となり十六団体の会員が日頃の稽古の成果を存分に発揮し、見応えのあるプログラムで会場を盛り上げ、中でも子供たちの舞台がとても素晴らしい。今後の活躍が楽しみな存在です。また「子ども吟剣詩舞体験」に参加した子供も短い期間の練習で見事に吟じてくれて、今後是非続けてほしいと願います。

賛助出演では玉村町文化協会から詩吟の会や、型演武、居合道、華道等は吟詠と合わせそれぞれの伝統を守り舞台で融合する様は見えていて緊張し満足感に浸ります。

式典では、臂泰雄市長より日本古来の伝統文化の奥深さと文化活動に携わっている会員に労いと励

昨年度から再開しており、今年度は特に活動の制約等も無かったかと思いますが、やはり約三年間にも及ぶ練習不足の影響は大きく、完全復活にはもう少し時間がかかりそうです。

この三行事のうち、屋外での開催である花まつりといせさきまつりは来場者も多く、客席もほぼ満杯でコロナ禍以前よりも多い位に感じますが、屋内で開催され年間最大イベントである郷土芸能大会は毎年観客の少なさが残念です。ご来場いただきたい方からも「内容が良いのにもつたいない」等の声が相次いでいます。原因の一つは出演者自身に



郷土芸能部門

宣伝不足

菊池 広文

郷土芸能部門は和太鼓、お囃子、八木節、民謡、獅子舞、古武道などの団体が市内各地で活動し、コロナ禍以前には三十九団体が所属し千百名程の会員を擁していましたが、活動がしづらいうちに減少してしまい、現在は二十八団体九百名程の組織となっております。文化協会の中で未だ最大の部門ですが少し心配です。

年間行事のうち、「華蔵寺公園花まつり」、「いせさきまつり」、そして人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター大ホールで開催されます「郷土芸能大会」の三行事は全団体が出演対象となっており、今年度はそれぞれ九団体、五団体、十三団体が出演しました。年間行事は



民謡民舞部門

第十七回民謡民舞発表会を終えて

大谷 ヒデ子

市の文化観光課の皆様や、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターの職員の方々にお世話になりながら、なんとか無事に終えることができました。出演者はほとんどが高齢者で、皆さんにお世話いただきながら、楽しく唄ったり、踊ったりできました。出演者も今はとても



ましのお言葉をいただき身の引き締まる思いです。三好賢治教育長からは伝統文化の良さを子供たちに伝えてほしいとお言葉をいただきました、少しずつではあります。吟剣詩舞に興味を持ち始めている子供たちも増えてきている昨今です。若い世代にも如何にして魅力ある伝え方をするか、そして根気よく啓蒙していくことが大切なのではないか今後の課題として考えなければなら

ないと思います。

会員も高齢化が進み減少しておりますが長く続けてこそその生



涯学習であり生きがいではないでしょうか。終わりになりましたが全会員の健康と文化協会、吟剣詩舞部門の発展を祈ります。

少なくなつてしまいましたが、こういう機会がないと張り合いがないのでまた、今度は次回の七月ですが、その発表会を目標に頑張りたいと思います。

私が民謡の三味線を始めた頃(今から五十年前程前)は民謡ブームに乗り、とても盛んで、伊勢崎市民謡連合会という、もう一つの団体もあり、参加者が多くて、土日と二日間発表会を行つた時代もありました。民謡を訪ねてあちこち旅行する人も多く、本当に楽しい時代もありました。今はすっかり人数も少なくなつてしまい、淋しい限りです。長かったコロナ禍も去りつつあり、なんとか盛り上げてゆきたいと思います。そして今回も、臂泰雄市長や市議会議員の方も発表会を観て下さり、本当にありがとうございました。

よる宣伝不足でしょうか。市の広報誌やウェブページ等では宣伝してもらっていますが、私も家族や知り合いに見に来てくれるようには頼んでいません。

自分がやりたいからやっており、上達したいのはどの部門も同じだと思いますが、郷土芸能部門に所属する各団体は地元で長い歴史があり、市の無形文化財などに指定されている団体も多く、後進の育成等の責任が重く、人に見てもらうことはあまり意識していないのかもしれませんが。皆さんには、郷土芸能の普及、発展、継承に日夜努力していただいています。が、せっかく良い会場を利用し、そして何より素晴らしい演技、演奏を披露する機会ですので、少し人に見てもらうことも考えていきたいと思います。

自分たちの出演準備や後片付けもあると思いますが、出演者同士で鑑賞しあうことも必要だと思いますので、何卒ご協力いただき、素晴らしい活動を皆さんに知っていただきたいと思います。今後もうろごよろしく願います。

洋舞部門

発表会に感謝

田島 マサミ

令和五年九月三日(日) 人材派遣ワイズコーポレーション境総合

文化センターで洋舞部門発表会が開催されました。

レクダンス、フラダンス、ペルーのダンスの二十一団体の参加でした。同時に美術部門と茶道部門、フラワーアレンジメントも開催され、バラエティーに富んだ発表会となりました。

また、コロナ禍の中でもマスクが自己判断となり、笑顔が見られるようになり嬉しくなりました。各団体も日頃の練習を積み重ねて、昨年よりもパワーアップされ美しい衣装に身をつつみ、晴れやかに踊られていました。非日常のこの時が人生において大切なのだと改めて思いました。ワクワクして、ドキドキして鈍くなっている感性が刺激され、とても楽しい一日となりました。

臂泰雄市長もご挨拶後しばらく



く舞台を見学してくださり、各団体の張り合いになっていることとでしょう。この日を迎えるにあたって文化協会の皆様に、どれほどお世話になったことでしょうか。この場を借りてお礼申し上げます。私たちサークルも長く続けて健康寿命を延ばし続けたいと思っています。



自然部門

趣味を楽しむ

青木 稔

待ちに待った展示会がやってきました。音楽部門、郷土芸能部門と同じ場所の、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターです。今年の展示団体は八団体でした。

自然部門の参加者がだんだん

コロナの完全終息はまだ先のようですが、これからはウィズコロナということで、感染症と付き合いながら、楽しく生涯教育の活動に励んでいきたいと思っています。



美術部門

美術部門展を終えて

近藤 悦子

九月一日(金)から三日間、第十七回美術部門展が開かれました。若い人たちが集うイベントや他団体の発表会があり沢山の方々に観てもらったことができました。例年になく暑い夏であり、夏日のなか行われ、七団体の人達の参加がありました。

紫墨会：八号から三十号と大きさを統一せず、会員の思い思いの風景画、静物画など水墨と墨絵の世界へ引きつけられました。



高齢化して、展示する団体が、毎年少なくなつて淋しいですが、出展者の方は、年に一度の合同展なので自慢の作品を展示していただけました。

今年は、六月に未曾有の暑さになり、気温が三十九度にもなりました。植物の品種によつては花がつかない、実がならない等のアクシデントがありました。が、参加者の今までの経験と愛情によつて、見事な参加作品へと仕上げられたものと思います。

今年度の自然部門へのご来場の皆様は、五百余名を数えたことは、文化協会事務局、各自然部門会員の皆様の努力とご協力の賜物と、感謝いたします。

今年の展示会を終えて、作品を出展したけれど、思うような完成度があげられなかった作品を、来年はより良く仕上げられるよう頑張ろうと思う次第です。

境水彩画：水彩の淡い色合いとタッチでスケッチなどを元に作成され心が落ち着く表現で癒されました。

全日本愛瓢会：会員が自ら育てた瓢箪に透し彫、印伝風、絵付け等の大小の瓢箪が並びました。境フラワーアレンジメント：サークル活動が制限されたなか、春、夏、秋の花のカラーでまとめた壁飾りや卓上飾りなど華やかな作品が飾られました。

フラワーアレンジメント華：フラワーアレンジメントにとらわれず、多彩な材料を取り入れた花々の世界を表現していました。原ノ城窯：ひとつひとつの作品が個性的で縄を焼き付けて模様を入れたり、味わいのある色合いで作るなど陶器の奥深さを感じました。

天然石ビーズアクセHANNA：天然石を使ったさまざまな装



諸芸部門

四年ぶりの全体開催

小保方 重吉

諸芸部門は、コロナ禍による影響で四年ぶりに全体開催を行うことができました。

八月二十七日(日)人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで異常気象の真夏の猛暑の中、開催され、朝九時に三団体の代表が集まり、開会式が行われました。囲碁団体は二階の和室と会議室、愛刀会は一階展示室、マジシャンクラブは大ホールで行いました。

囲碁は、十時より開会し、臂泰雄市長、上毛新聞囲碁解説者大塚立誌様の二名の方から来賓祝

辞をいただきました。その後、組分け、大会諸注意の後、熱戦が行われました。

囲碁団体は四年のブランクの間、運営委員も変わり設営にあたっては、経験者の意見をふまえて進めました。参加募集には、六つのサークルから四十一名の参加を得て、三クラスで行われました。

囲碁は棋力によってハンディがつけられるので、初心者から有



段者まで自由に打てるのが魅力です。それと高齢者になると、体力を使つての趣味は敬遠されがちですが、囲碁にはそんな制約もありません。勝敗の結果には一喜一憂して熱くなることもあります。高齢でも感動できる機会です。今回は、子どもサークルから六人の方が参加し、二つのクラスで優勝という成績を上げました。これからの成長が楽しみです。表彰式後、閉会となりました。

愛刀会は展示室にずらりと名刀が展示され、美しく輝く名刀に魅了されます。刀剣の種類も太刀、刀、脇差、短刀、剣と分類されることを知りました。関連書物の展示に加え、国別一覧、作刀の年代表もありました。刀剣の性質上、警備の方の監視も付き、緊張する展示でもありました。

伊勢崎マジシャンクラブによるマジックショーは大ホールで十二時三十分より開演となり、満席の中で、一部と二部計十二種目が披露され、ひとつひとつの技から繰り出される不思議な芸の見事さに会場からは拍手、喝采が起きていました。

四年ぶりの開催とあって、文化観光課でも広報に力を注いでいただき、広告チラシの掲示や上毛新聞パレット欄にも掲載され、周知を図っていただきました。また、準備から当日の運営にあたって全面的に協力をいただいたことに感謝いたします。

書道部門

書文化の多様性

菱 和枝

晴天に恵まれた令和六年二月二日(金)から四日(日)までの三日間、伊勢崎市文化協会書道部門主催の第十七回書道展が人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。





出品者百六十八名による百七十一一点(複数出品者三名)の作品は一般展示室、展示ロビー、小ホールに分けて展示され、三日間の来場者は約六百五十人でした。

例年通りの会派を超えた作品は多岐にわたり、漢字の各種書体で書かれた漢詩、経典、小字句、一字書、そして古典の臨書などは多彩を極め、仮名の美しく加工された料紙に表現された和歌や俳句は風雅な趣きを漂わせ、近代詩文書は、わかり易い詩歌を格調高い筆致で観る人を魅了させてくれました。また、「方寸の世界」といわれる篆刻の妙味にも感嘆させられました。

作者の個性が光る作品の前では出品者相互の書談義に花を咲かせられる場面も見受けられ、ご覧くださった来場者の方々は書文化の豊かさ、美しさ、楽しさなどを多少なりともお伝えできたのではないかと思っております。



きたのではないかと思っております。

昨今の世界情勢下、この災害列島に生きる私たちには芸術文化は心の拠り所です。このような市の文化事業は本来にありがたく、今回もこの書道展開催にご尽力くださいました文化協会会長新井祥碩先生、書道展実行委員長長丸橋鳴峰先生、伊勢崎市文化観光課関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

写真部門

池田 育兄

今年も令和六年三月二十二日(金)から二十四日(日)まで三日間の開催が成功裏にできましたこと大変ありがたく、うれしく思います。



インフルエンザ、新型コロナウイルス、また天候不順が続く中で四季折々の写真撮影にタイミングを合わせることに苦労されたことと思います。

その中でも各クラブや個人の努力により多くの力作が出品され見応えがありました。また、今回の案内状のデザインが今までになく一新され、斬新さを感じました。そのおかげでしょうか、一クラブの退会がある中で二百六十余名の来場者があり、事務局や各クラブの会長はじめ会員の皆様の努力の結果が出たものと重ねて感謝いたします。

次年度も素晴らしい作品を見られることを期待し、写真の表現の楽しさ、感動、日常に新たな喜びを若い方たちへ繋げていきたいと思えます。写真文化の発展、普及に各クラブのお力添えを深くお願い申し上げます。

華道部門

尾内 厚子

第十七回いけばな展を終えて



人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターにおいて、第十七回いけばな展が無事終了いたしました。

会員の方々は、真剣なまなざしのなかで、仲良く楽しく花と向き合っています。それだけで雰囲気は充実しておりました。いけばな作り時間を工夫して若い会員の方々の参加もあり、華道文化の次世代に良い影響をあたえていると思えます。作品は、花自身が喜んで躍動している様で、春の息吹を感じます。ツバキや桜



などは蕾が開きかかって、とても鮮やかです。どの花も創意工夫がしてあり、観る人の心にポーズを取って輝いている感じがです。周囲は物語の世界でした。伝統文化である華道に親しんでいればこそ、味わうことができるのです。ありがたいと思えました。お客様はじっくり観てくださいました。年配の女性の方は、たくさんの方々と連れだって、会場を賑やかに盛り上げて下さいました。

準備の日は天気も良く午後から、展示中は毎朝九時三十分より、

令和五年度新規加入団体 (敬称略)

- 音楽 アンサンブルオーリーブ 内田 晃美
 - 美術 墨絵アート 茂木 徳子
- 以上、二団体が伊勢崎市文化協会に加入しました。

伊勢崎市文化協会への新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみたいかがでしょうか。

《入会資格》 入会しようとする団体は、主に伊勢崎市で活動する文化団体で、五名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

《部 門》

- ① 美術
- ② 書道
- ③ 写真
- ④ 華道
- ⑤ 茶道
- ⑥ 文学
- ⑦ 音楽
- ⑧ 歌謡
- ⑨ 邦楽舞踊
- ⑩ 吟剣詩舞
- ⑪ 民謡民舞
- ⑫ 郷土芸能
- ⑬ 洋舞
- ⑭ 自然
- ⑮ 諸芸

の十五部門があります。

皆様の活動内容にあった部門にご加入の希望をお願いいたします。

【個人がいずれかのサークルに入りたい場合】

《各サークルへの入会希望者》 事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

○お問い合わせ・入会の申し込み先

伊勢崎市文化協会事務局(伊勢崎市産業経済部文化観光課内)

Tel 0270-2712759



詳しくはコチラ
市ホームページ
伊勢崎市文化協会の
ページをご確認ください

茶道部門

茶会を終えて

中島 澄子

令和五年九月三日(日)文化協会秋の茶会が、人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開催されました。当日



はまだ真夏のような暑さで、夏用着物でさえ汗びっしょりになるような陽気でした。

コロナで中止になっていた時期を越えて開催された今年の茶会にはコロナ後二年目ですが、まだ昨年は厳重警戒の中での開催で、今年はコロナが五類になって警戒が緩んだとはいえ、消毒やマスクの着用、茶碗の熱湯消毒、三密回避の人数制限がある中での茶会でした。

私たちの一席(宗家江戸千家)は、四つの社中が分担してお道具を提供し合い、茶碗茶入れ、茶杓、釜、棚、水屋道具等々、日頃のお稽古の成果を発表できる喜びを感じながらのお点前や、お通いなどは緊張しながらも背すじがのびる思いでした。お客様よりお菓子を味わった後のお誉めの言葉や、お道具への賛美の言葉は大変嬉しく思いました。

熱心に「いけばな展」を観てくださった皆様に感謝いたします。

みんなの「はじめて」 集めてみました♪



名場面集



水墨画体験



フラダンス体験



フラワーアレンジメント体験



いけばな体験



マジック体験



日本舞踊教室



吟剣詩舞体験



さいごに…

伊勢崎市文化協会では、令和6年度も「キッズはじめて文化チャレンジ」を実施する予定です。

現在、開催に向けて各部門の代表者と準備を進めておりますので、ご興味ある方は、ホームページまたは文化協会事務局までお問合せください。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています！



令和5年度

キッズはじめて 文化チャレンジ

体験のようす

令和5年度は、6つの部門で「キッズはじめて文化チャレンジ」を開催し、200人を超える子供たちに、文化芸術に親しむ機会を提供することができました。



水墨画体験



いけばな体験



吟剣詩舞体験



フラワーアレンジメント体験



日本舞踊体験

令和5年度実施実績

【日程】

8/27(日)

8/27(日)

8/27(日)

9/9(土)・9/10(日)

9/30(土)

R6.2/10(土)

R5.10/7～R6.3/24

(全10回)

【内容】

水墨画体験

フラワーアレンジメント体験

キッズフラダンス体験

こどもいけばな体験

こどもマジック体験

こども吟剣詩舞体験

こども日本舞踊教室

本番前の一コマ

「こども日本舞踊教室」本番！

緊張の初ステージ。

本番前に、舞台袖で入念な笑顔の確認をする様子をパシャリ。



		団 体 名	代 表 者	会員数
洋 舞	1	JAあずまフラクラブ	細野 京子	10
	2	レクダンス三郷	永島 トシ江	15
	3	ハイビスカス豊受	大竹 正子	11
	4	プアリリレフア	佐藤 つや子	10
	5	ハイビスカス赤堀	金井 比呂子	10
	6	ヒナノ	田端 道子	10
	7	ピカケ伊勢崎	都丸 美恵子	13
	8	Puanani	宮崎 恵子	14
	9	レイモミ	高木 照子	10
	10	三郷小町	平田 敏江	14
	11	ロゼラニ	森田 衣代	6
	12	フラサークルパカラナ	吉田 千恵子	10
	13	'Ohana Lōkahi	上岡 文子	60
	14	名和ナイスフラレディース	小暮 智枝	18
	15	フラグループ Nā Lei	高木 恵子	10
	16	カプア	入澤 のり子	12
	17	レクダンスKSG	大和 妙子	10
	18	Pasion Peru	竹原 ドラ	20
	19	レクダンス パープル	小澤 富士子	15
	20	ファイ オ ククナ	角田 憲子	15
	21	プアナニ ロケ	関口 美代子	10
	22	レクダンス名和	中川 美和子	14
	23	ダンス ゆう	栗原 幸子	12
		合計	23団体	329
自 然	1	日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	13
	2	伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	17
	3	伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	96
	4	伊勢崎市蘭蕙愛好会	久保田 正	8
	5	伊勢崎山草会	島津 あけみ	11
	6	伊勢崎菊花同友会	小島 勝	18
	7	境山草会	瀬井 明	17
	8	うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
		合計	8団体	190
諸 芸	1	あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19
	2	伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	13
	3	伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12
	4	伊勢崎佐波囲碁会	栗原 幾雄	60
	5	境囲碁研究会	小谷 雅春	20
		合計	5団体	124
総計 178団体 4,478名				



		団 体 名	代 表 者	会員数
吟 剣 詩 舞	1	寿流 日舞 詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
	2	寿流 日舞 詩舞 鶴久紀会	原 けい子	20
	3	心彰流 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
	4	吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	50
	5	吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	30
	6	美扇流 鶴緑会	齋藤 幸枝	4
	7	吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15
	8	吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	14
	9	吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10
	10	吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	松村 進	22
	11	心彰流 剣彰会	齋藤 ひとみ	15
	12	岳心流 東栄諏訪美会	諏訪 勝美	12
	13	心彰流 あずま吟詠会	小暮 利明	15
	14	心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子	10
	15	菊水流 菊崇会	田村 雅代	8
	16	日本詩吟学院 芙蓉会	小澤 まち子	16
		合計	16団体	264
民 謡 民 舞	1	旭星会	高野 邁	10
	2	旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	10
	3	天秋会	大谷 ヒデ子	10
	4	天秋会江原教室	江原 昌代	10
	5	秀月会	小峰 トシ子	10
	6	山輝稚会	森村 米多	10
	7	マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	16
	8	宮子民謡会	根岸 君代	5
	9	優乃会	水島 正枝	7
	10	まちだ連	梶山 時子	32
		合計	10団体	120
郷 土 芸 能	1	伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	松島 カツイ	18
	2	神谷八木節会	高木 栄	25
	3	赤堀郷友会	金子 英保	18
	4	田下八木節会	今井 照彦	25
	5	上武士八木節同好会	高山 健	17
	6	上刈名八木節保存会	長沼 圭一	17
	7	百々親友会八木節部	菊池 広文	57
	8	伊勢崎和太鼓	半田 孝	20
	9	荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20
	10	木遣り保存会	関口 二三司	50
	11	千本木龍頭神舞保存会	大和 弘幸	27
	12	南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35
	13	上州あずま太鼓会	須賀 正文	36
	14	氣樂流柔術保存会	水科 壽美	30
	15	下刈名獅子舞保存会	大橋 則之	18
	16	東新井獅子舞保存会	柄本 史朗	29
	17	東町囃子保存会	岡本 宇正	50
	18	女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	36
	19	栄町祭囃子保存会	鉄川 房伸	124
	20	三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	34
	21	上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46
	22	剛志民謡保存会	森村 清志	17
	23	赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	12
	24	美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30
	25	上州国定睦	井上 潤	10
	26	福島町八木節保存会	本木 栄一	23
	27	群天星(ムリティンブシ)	稲川 真寿美	24
		合計	27団体	848

令和6年度 伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和6年5月1日現在)

		団 体 名	代 表 者	会員数
音 楽	1	伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	48
	2	アイオーしんぎん音楽部	櫻井 綾花	16
	3	ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	4	早川歌謡バンド	広瀬 茂男	25
	5	合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	6	伊勢崎混声合唱団	眞藤 正志	19
	7	伊勢崎コーラス・ノイエ	菊池 美幸	32
	8	コーラス・ヴィオラ	佐藤 葉子	16
	9	伊勢崎第九を歌う会	櫻井 正彦	80
	10	混声合唱団 風	池田 昌子	22
	11	あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	18
	12	凜	平田 康子	16
	13	オカリナ・響	小林 幸映	15
	14	コール ぽこ・あ・ぽこ	田中 悦子	28
	15	あんさんぶる22(トインディーター)	下田 清子	12
	16	アンサンブル オリーブ	内田 晃美	15
		合計	16団体	425
歌 謡	1	あずま白樺会	船戸 省三郎	25
	2	櫻桃会	植木 昭一	52
	3	白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	105
	4	大国歌謡クラブ	荒井 通好	60
	5	清水歌謡教室	清水 巖	95
	6	植木歌謡教室	植木 春江	18
	7	ラッキーなかよし会	伊藤 ひろみ	26
	8	TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	28
	9	歌謡教室ひばり会	田島 初美	15
	10	歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
	11	TUTUJiクラブ	米山 とみゑ	15
	12	サークル・プルメリア	亀井 邦夫	17
	13	サークル・いろはにほ	川島 美重子	33
		合計	13団体	520
邦 楽 舞 踊	1	伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	60
	2	祐妃会	川島 かずみ	20
	3	悦紅会	飯塚 悦子	10
	4	扇優会	石倉 優美子	22
	5	いづみ会	藤枝 敏子	8
	6	吉三会	阿久津 テル子	10
	7	若駒会	星野 良枝	10
	8	成駒会	田所 陽子	12
	9	琴謡会	井上 明子	8
	10	美也珠会	小島 美也子	10
	11	日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	26
	12	樹凰会	小竹 淑子	10
	13	久紀の会	川端 和子	20
	14	ことほぎ	尾内 能利江	11
	15	好風会	角田 庸子	10
	16	やなぎ会	高橋 ゆり子	8
	17	いせさき能実行委員会	齋藤 美智子	11
	18	たのしい舞踊の会	高山 晴江	10
		合計	18団体	276

		団 体 名	代 表 者	会員数
美 術	1	紫墨会	石原 素子	13
	2	境水彩画会	田島 敏宏	16
	3	全日本愛瓢会 群馬県支部	原 角雄	50
	4	境フラワーアレンジメントサークル	齋藤 美智子	33
	5	フラワーアレンジメント華	栗原 幸子	15
	6	原ノ城窯	鈴木 茂	13
	7	天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
	8	墨絵アート	茂木 徳子	12
		合計	8団体	162
書 道	1	清月書道会	福田 令子	40
	2	書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3	書藝研究会	北爪 真里子	5
	4	円かな書会	栗原 ウメ子	14
	5	玉葉会	石橋 満津枝	17
	6	昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7	祥山書会	神宮 まり子	11
	8	書宝会	松本 近史	10
	9	雪月華書道会	高野 千春	10
	10	草友会	高柳 託治	9
	11	大蛙洞書道会	大貫 八生	17
	12	東光書道会	新井 哲郎	40
	13	淵名印社	大貫 勝利	10
	14	翠香会	根岸 幸子	23
	15	利根書会	町田 直美	17
		合計	15団体	303
写 真	1	写団国定	神田 武	7
	2	写団チングルマ	橋本 智明	15
	3	P.C アベックス	池田 育兄	14
	4	写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	34
	5	[写心塾]A.P.C.	秋山 曄	11
	6	フォトクラブ遊	柳澤 満之助	10
		合計	6団体	91
華 道	1	伊勢崎いけばな協会 桜	長谷川 恭子	100
	2	伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	100
		合計	2団体	200
茶 道	1	伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	宮澤 春江	106
	2	伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 澄子	120
	3	伊勢崎茶道会表千家	加藤 茂美	150
	4	伊勢崎茶道会裏千家	萩原 豊子	100
	5	伊勢崎茶道会江戸千家	有川 よし子	30
		合計	5団体	506
文 学	1	みさと短歌会	吉沢 典子	5
	2	境図書館短歌会	光山 半彌	18
	3	群馬童話研究会	木村 幸江	15
	4	鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	45
	5	紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	6	伊勢崎市民俳句会	真鍋 俊男	17
		合計	6団体	120

令和5・6年度 伊勢崎市文化協会常任理事名簿

敬称略			敬称略		
役 職	氏 名	所属部門	役 職	氏 名	所属部門
会 長	新 井 哲 郎	書 道	〃	新 藤 靖	文 学
副会長	丸 橋 孝 男	書 道	〃	下 田 清 子	音 楽
〃	関 勝 已	吟剣詩舞	〃	櫻 井 綾 花	音 楽
〃	川 島 和 美	邦楽舞踊	〃	植 木 昭 一	歌 謡
〃	菊 地 正 之	諸 芸	〃	荒 井 通 好	歌 謡
書 記	石 倉 優美子	邦楽舞踊	〃	原 けい子	吟剣詩舞
〃	長谷川 恭 子	華 道	〃	大 谷 ヒデ子	民謡民舞
会 計	永 島 トシ江	洋 舞	〃	江 原 昌 代	民謡民舞
〃	吉 沢 典 子	文 学	〃	菊 池 広 文	郷土芸能
監 事	小 倉 良 枝	写 真	〃	柿 沼 盈	郷土芸能
〃	栗 原 幸 子	美 術	〃	細 野 京 子	洋 舞
常任理事	池 田 育 兄	写 真	〃	金 井 由 一	自 然
〃	永 島 治 子	華 道	〃	阿久澤 嘉 昭	自 然
〃	有 川 よし子	茶 道	〃	小保方 重 吉	諸 芸
〃	萩 原 豊 子	茶 道	※美術部門の常任理事については、前任者の退任に伴い、現在後任の選任中です。		

令和 5 年度 伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

敬称略				
No.	役 職	氏 名	部 門	所 属
1	委 員 長	石 田 英 生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会
2	副委員長	吉 沢 典 子	文 学	みさと短歌会
3	委 員	近 藤 悦 子	美 術	天然石ビーズアクセHANA
4	〃	福 田 令 子	書 道	清月書道会
5	〃	池 田 育 兄	写 真	P . C アペックス
6	〃	松 永 幸 江	華 道	伊勢崎いけばな協会 松
7	〃	有 川 よし子	茶 道	伊勢崎茶道会江戸千家
8	〃	下 田 清 子	音 楽	あんさんぶる22
9	〃	荒 井 通 好	歌 謡	大国歌謡クラブ
10	〃	飯 塚 悦 子	邦楽舞踊	悦紅会
11	〃	松 本 春 野	民謡民舞	マズルカF D (フォークダンス) 茂呂
12	〃	金 子 英 保	郷土芸能	赤堀郷友会
13	〃	田 島 マサミ	洋 舞	プアナニ ロケ
14	〃	青 木 稔	自 然	伊勢崎市蘭蕙愛好会
15	〃	小保方 重 吉	諸 芸	あずま赤堀囲碁愛好会

令和 5 年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿

順不同・敬称略				
No.	賛 助 会 員 名	代表者等	住 所	電話番号
1	カラオケスタジオ ミナミ	南 和 夫	伊勢崎市境上矢島 218	0270-76-4129
2	カラオケスタジオ・ユー	荒 木 宥 子	太田市新田大根町 596	090-2240-4850
3	みさと短歌会	吉 沢 典 子	伊勢崎市安堀町 1899-1	0270-24-1868
4	清水生花店	清 水 秋 夫	伊勢崎市三光町 7-23	0270-26-8741
5	有限会社ワイズ・プランニング	山 口 善 弘	伊勢崎市今泉町一丁目 1099	0270-24-5033
6	株式会社シンエイ	清 水 秀 明	伊勢崎市連取町 2355-5	0270-24-7245
7	三橋寿司	阿久津 幸 次	伊勢崎市昭和町 4071	0270-23-8069
8	カワバタ設計	川 端 俊 明	伊勢崎市八幡町 45-2	0270-25-8756
9	有限会社保坂工務店	保 坂 正 男	伊勢崎市波志江町 3667	0270-24-1905
10	西ひとみ社会保険労務士事務所	西 ひとみ	伊勢崎市田部井町一丁目 1166-20	0270-61-0570
11	平井産業運輸有限会社	磯 定 雄	伊勢崎市平井町 1082	0270-62-4102
12	株式会社桜井土建	櫻 井 明 江	伊勢崎市三室町 6148	0270-62-3650
13	株式会社田村建設	田 村 知 幸	伊勢崎市小泉町 450-4	0270-63-3333
14	フローリストみね	藤 井 栄	伊勢崎市曲輪町 15-10	0270-23-3628
15	川島美術印刷株式会社	川 島 和 美	伊勢崎市中町 760	0270-25-8111
16	川島 和美		伊勢崎市今井町 377	0270-26-7580
17	東光書道会	新 井 哲 郎	伊勢崎市境米岡 685	0270-74-0533
18	ギフト PR 品のハロー商事	佐 藤 剛 史	伊勢崎市下蓮町 253-2	0270-32-6096
19	フラワーアレンジメント華	茂 木 徳 子	伊勢崎市上田町 171-23	0270-63-1627
20	伊勢崎ユネスコ協会	会長 長 沼 宏 泰	伊勢崎市今泉町二丁目 410	0270-27-2793
21	八代肉店		伊勢崎市大手町 4-8	0270-25-1960
22	ふたば美容室		伊勢崎市野町 27-4	0270-62-5914
23	東観光バス株式会社	中 島 俊 幸	伊勢崎市境上淵名 1186	0270-76-5100
24	有限会社田澤商店 (セブンイレブン)	田 澤 透	伊勢崎市田部井町二丁目乙 1262	0270-62-0018
25	細谷印刷有限会社	細 谷 昌 孝	伊勢崎市今泉町二丁目 939-5	0270-25-0193
26	吟詠の会 関勝風教室	関 勝 已	伊勢崎市美茂呂町 3333-3	0270-25-3223
27	紫墨会	児 島 貞二郎	伊勢崎市昭和町 1950-1	0270-25-4025
28	成駒会	高 山 晴 江	伊勢崎市市場町二丁目 903-5	090-9970-2756
29	伊勢崎邦楽舞踊協会	青 山 正 弘	伊勢崎市波志江町 798-6	0270-23-0244

令和 6 年度 伊勢崎市文化協会
功労表彰被表彰者名簿

長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

敬称略

部 門	所属団体	氏 名	部 門	所属団体	氏 名
美 術	紫墨会	石 原 素 子	邦楽舞踊	悦紅会	飯 塚 悦 子
書 道	淵名印社	大 貫 勝 利	吟剣詩舞	鶴緑会	金 井 キヨミ
写 真	写団チングルマ	岡 崎 悦 宙	民謡民舞	宮子民踊会	川 井 やす子
華 道	伊勢崎いけばな協会 松	永 島 治 子	郷土芸能	伊勢崎交通安全協会 女性部八木節部	松 島 カツイ
茶 道	煎茶道方円流	丹 波 真知子	洋 舞	レクダンス三郷	塚 越 浅 枝
文 学	境図書館短歌会	椎 名 喜代子	自 然	伊勢崎市蘭蕙愛好会	林 敦 夫
音 楽	伊勢崎市民吹奏楽団	中 島 博	諸 芸	伊勢崎佐波囲碁会	小 堀 公 孝
歌 謡	白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子			